

遠州流挿花意匠一



79
615
1



731
615
14

瓶數一百
十有餘國

里松庵一壽撰

遠州流

狝菴意匠

四時混雜花席不同



主圖と摸写

記の通

〜

〜

〜

あゝいづれ花はたかきそとくも
 山野幽谷に越えりて
 其実を
 其実を
 其実を
 其実を
 其実を

里ね菴のあゝいづれ花はたかきそとくも
 うらと申は松四季に
 花とて
 精とて
 心

一齊 森氏

不二庵

一朝 藤村氏

鳥聲庵

一甫

不撰庵

一澤

不存庵

一翁

春秋庵

一華

自然庵

一葉

春秋軒

一枝

新日庵

一景

春艸庵

一賀

齊藤氏

榮松庵

榮松庵門葉

鶴岡氏

里松庵一壽

插花意匠序

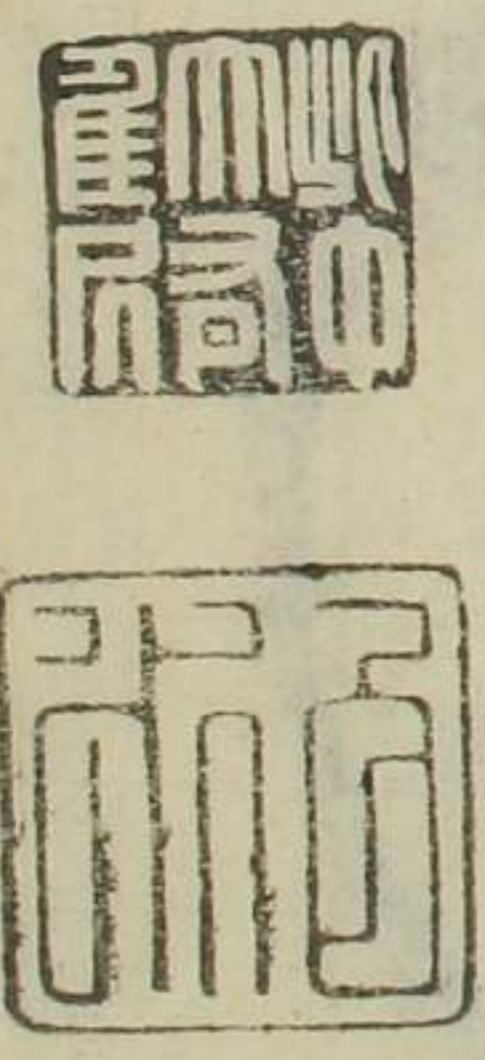
近世插花之技。莫盛於遠州刺史守南。後
得其傳者。流派尤繁。今也里松庵一壽之
於插花。上不失遠州之奧指。下悅輿人之眼
目。是而效之。聞而慕之者多矣。於是乎作
圖式以示意匠。余披卷拍案。歎曰。是見天

地心者莫如草木之開落。剪草木之取枝。編
 在翠間者。插花是也。既在插。在豈得無術
 乎。如此圖式。能全天然。以適人意。可謂至矣。
 梓公于世。豈不昇平。一舉事。示生植之為
 物。非人作之所得私也。鴉隹之屬。伸之一
 楔束之。恰如草木之生。維中者。非自得

之至。則不強為。古云。稟賦之於種。樹能順本
 之大。以致其性。焉。余於一壽。亦云。

又政癸未初夏

白水真人題



Vertical text on the left margin of the left page.

夫れわがまゝに〜
 世に流るゝよ。世に流るゝよ。世に流るゝよ。
 在共、中々大國の位を〜
 加さ入のち〜
 なるあ〜
 一〜

業小の〜
 増大相國小持南〜
 於位は流るゝよ。於位は流るゝよ。於位は流るゝよ。
 交を〜
 なるあ〜

豊臣

三

清くもいふ。あつたにむかひもよる。あつたあ
 をこゝかゝるも何るあれも。後下下下
 未おは同と。世お度め侍家。あをれ
 業おるこゝ人とも。あゝは。世子を種
 幸所何。の古を何なと習く。が。此

ちのさき。あつたあ。あつたあ。あつたあ
 多し。あつたあ。あつたあ。あつたあ
 一。あつたあ。あつたあ。あつたあ
 心。あつたあ。あつたあ。あつたあ
 あ。あつたあ。あつたあ。あつたあ

山鹿草



山鹿草

山鹿草

山鹿草

里松黄一壽



五

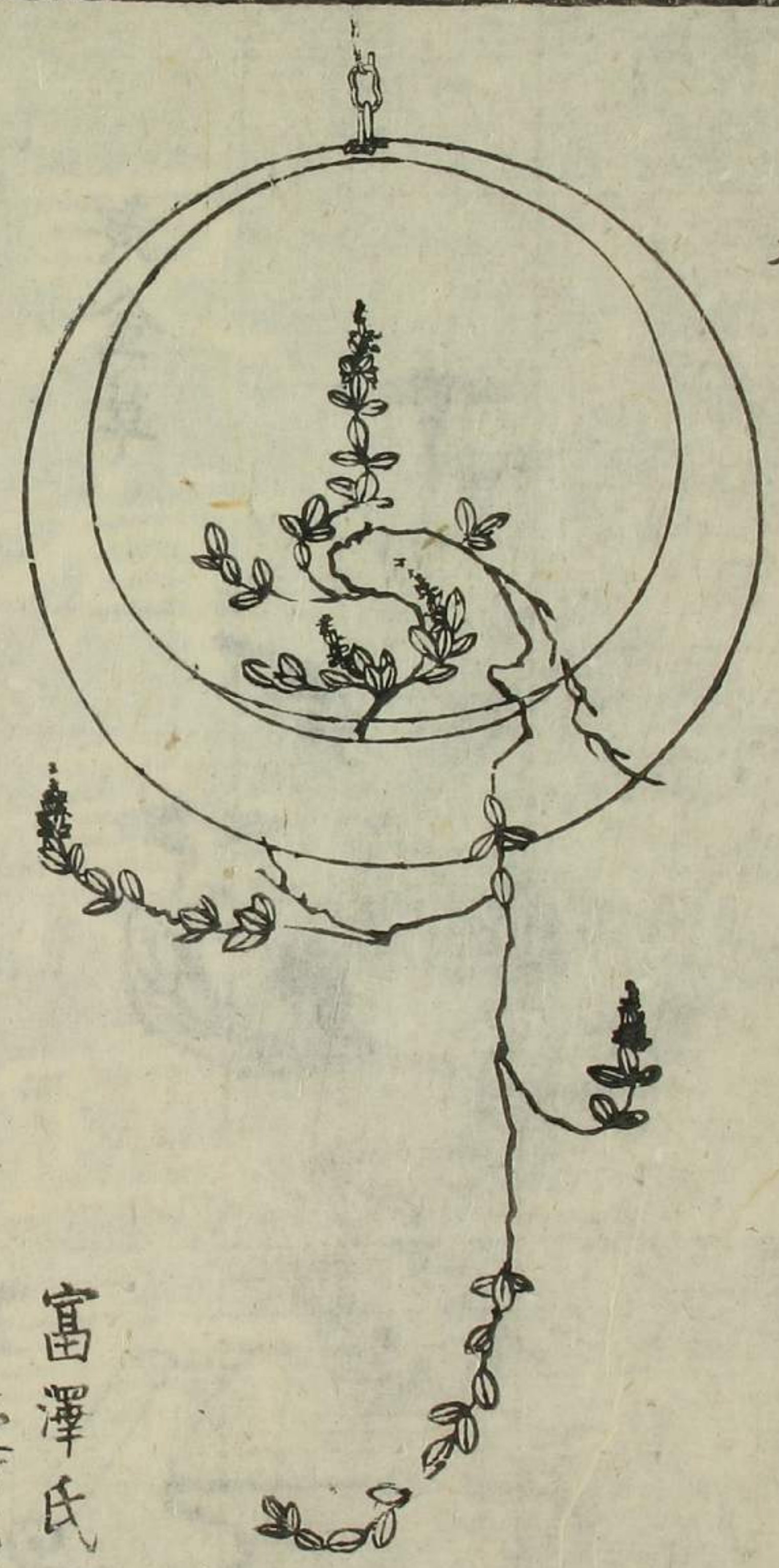
更看有意匠
自有心傳在

黃金草



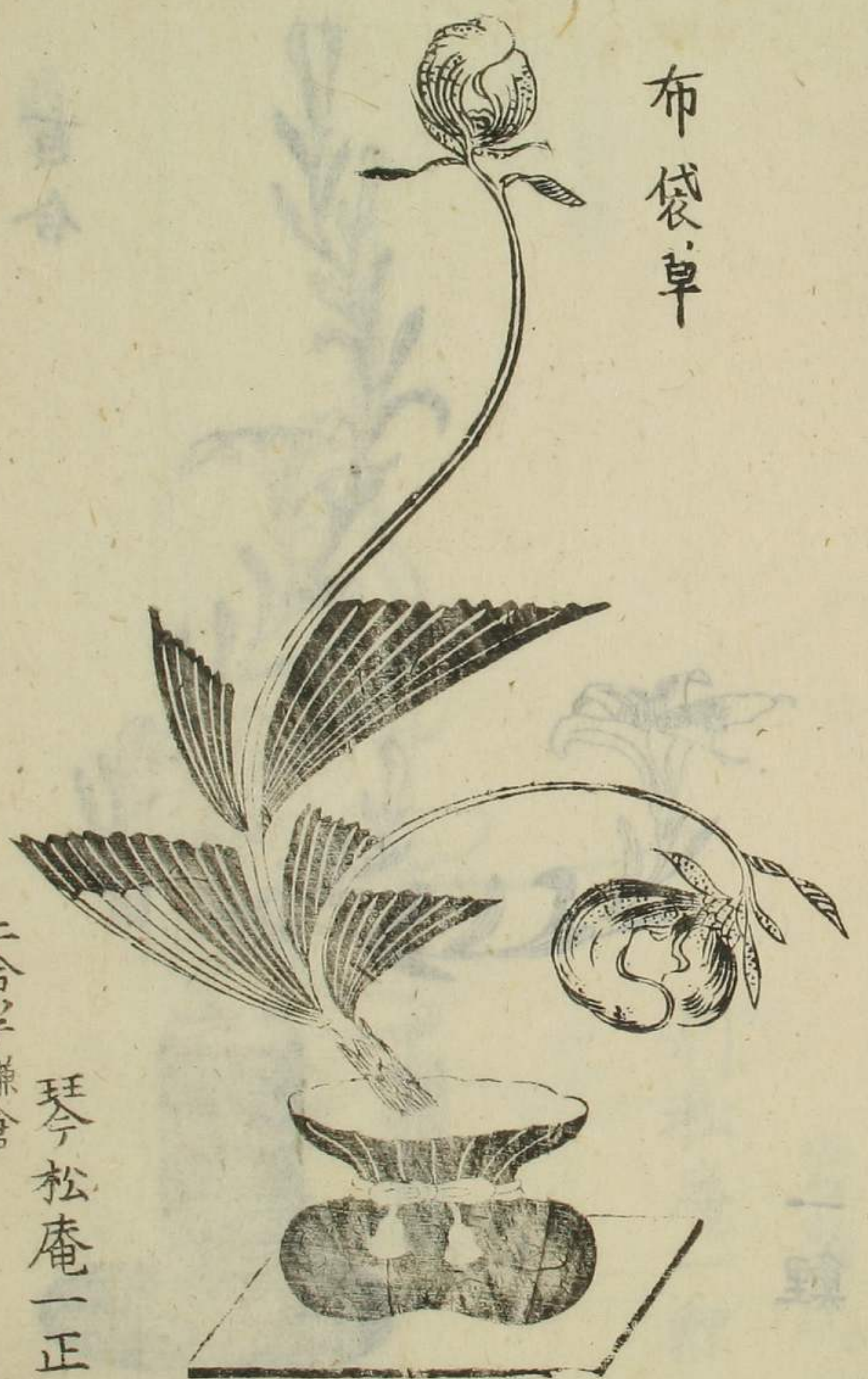
一路女

曼桂



富澤氏
壽石
小童

布袋草



琴松庵一正
二合半鎌倉
丹田氏

百合



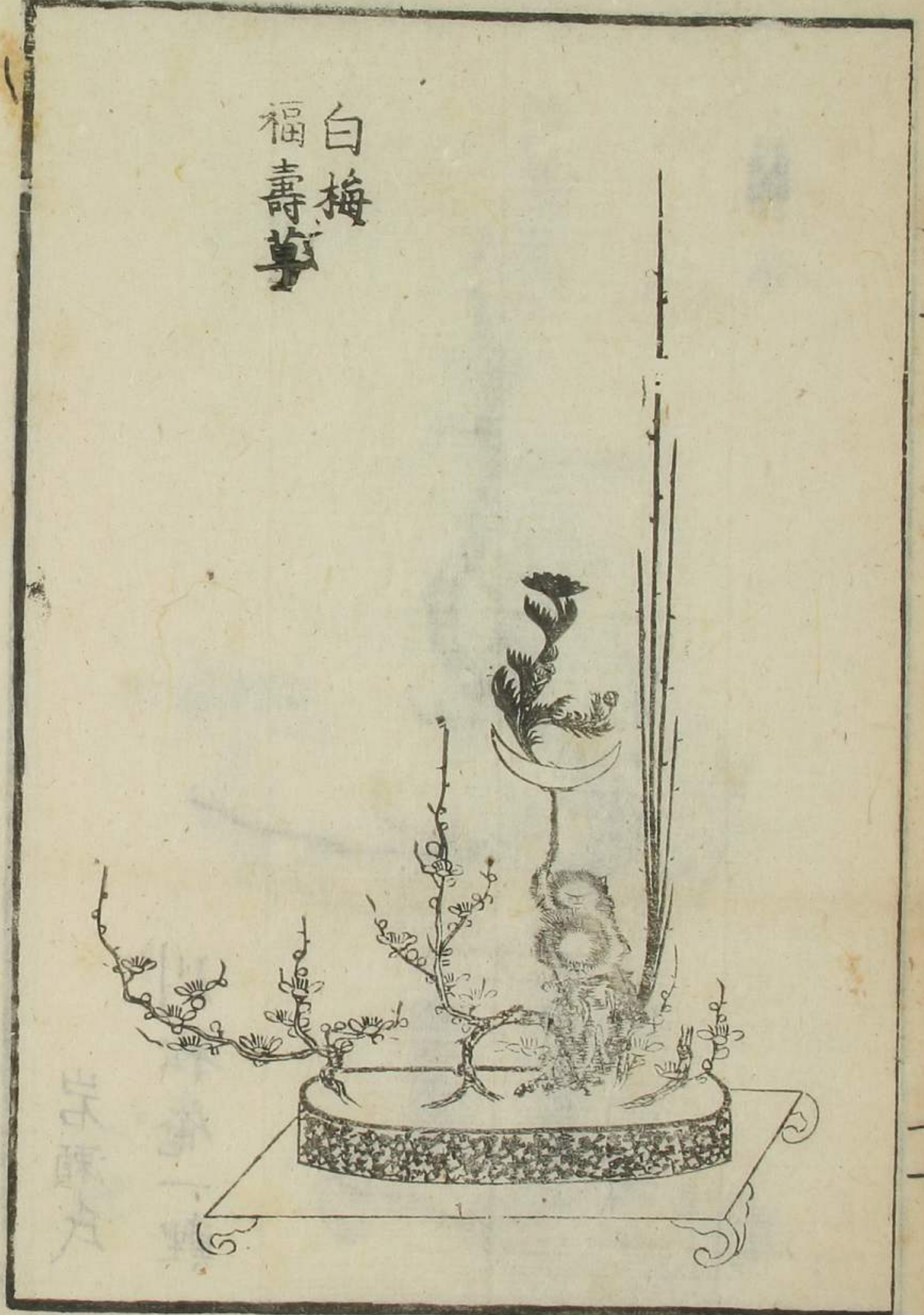
一鯉

蘭



岩瀬氏
川松庵一鯉

白梅
福壽草



松竹梅



能勢氏
峯松庵
一龜

鳶尾草



拍松庵一榮

二合羊
鎌倉 濱島氏

複齒采
長春
寒薄
葉壯丹
水仙



橋本氏
廣松庵一白

夏菊
玉登



翠松庵一瓿

入山氏

白牡丹菊



雪松庵一瓿

橋本氏



樊噲草

負松庵
一志女



紫陽花

翠松庵一瓿

入山氏

芙蓉柳



鈴木
壽友女

あはれは月

しん

美紅

あま

心

門葉
連松茶

天木蓼
馬蘭



連松庵門人
蜂巢氏
一桐

濱錦菊



太田氏
萬松庵一指



水仙
留真

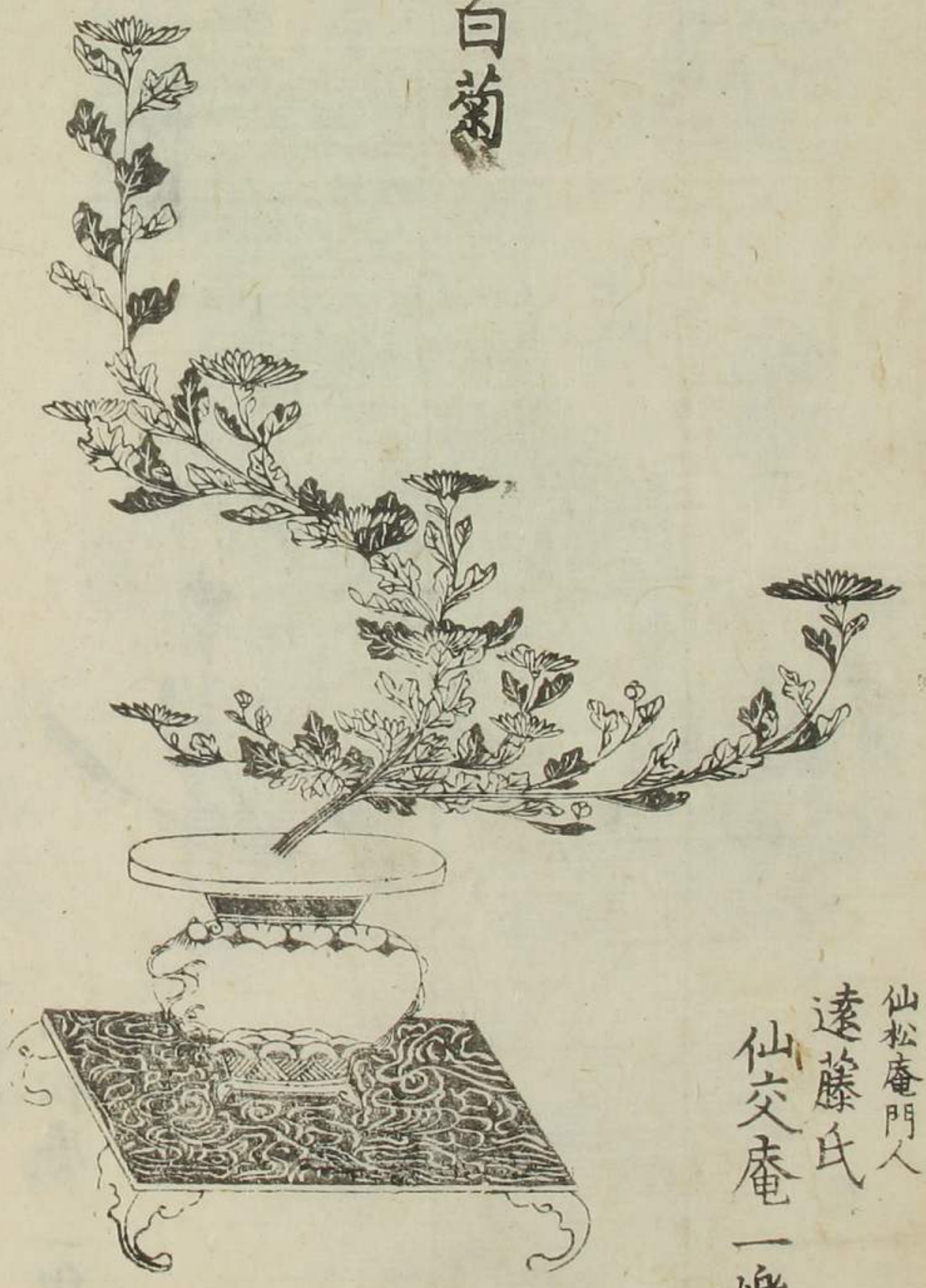
吉田氏
仙松庵一叟



福壽草

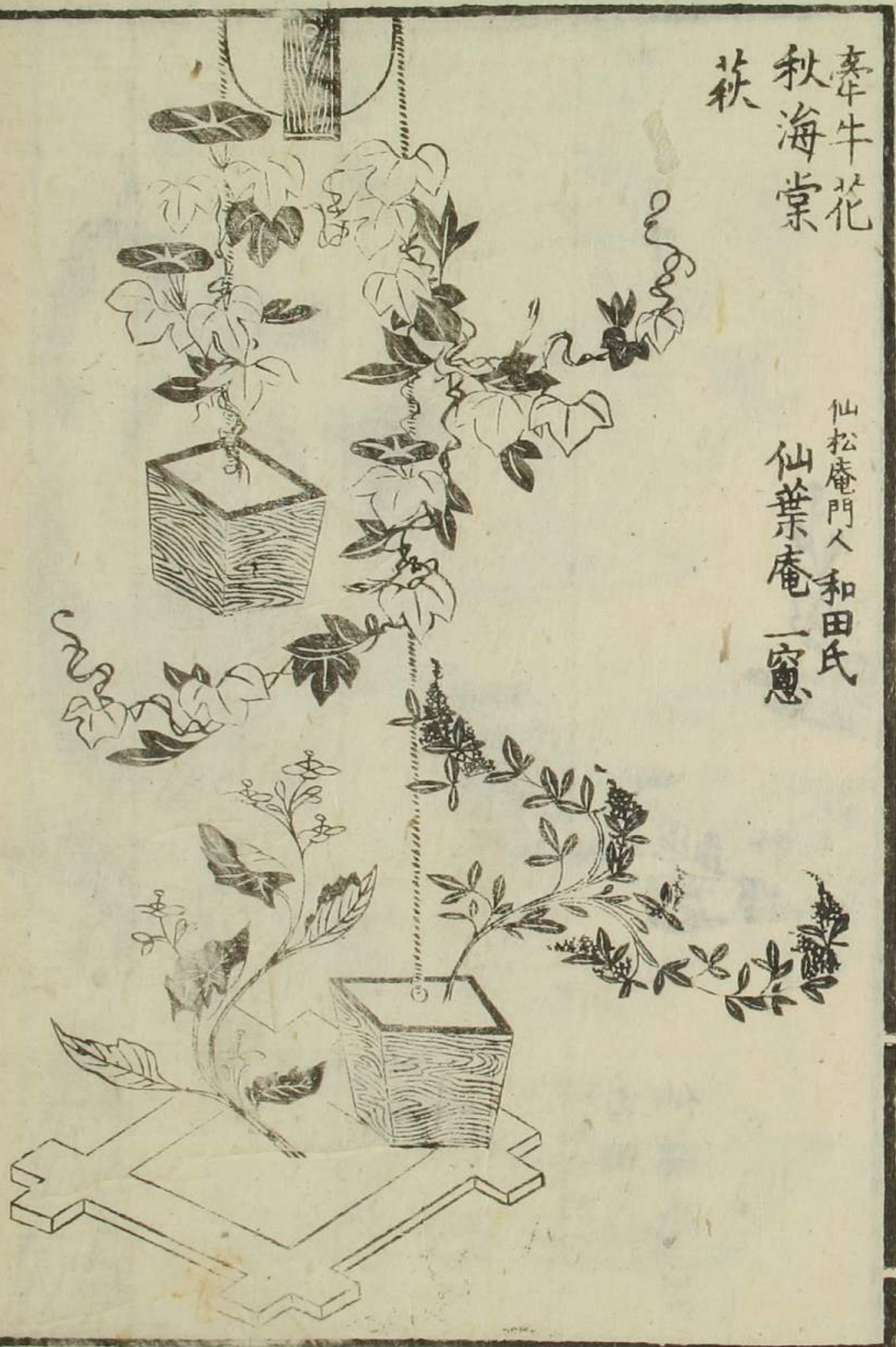
里松庵一壽

奥白菊



仙松庵門人
遠藤氏
仙交庵一樂

牽牛花
秋海棠
萩

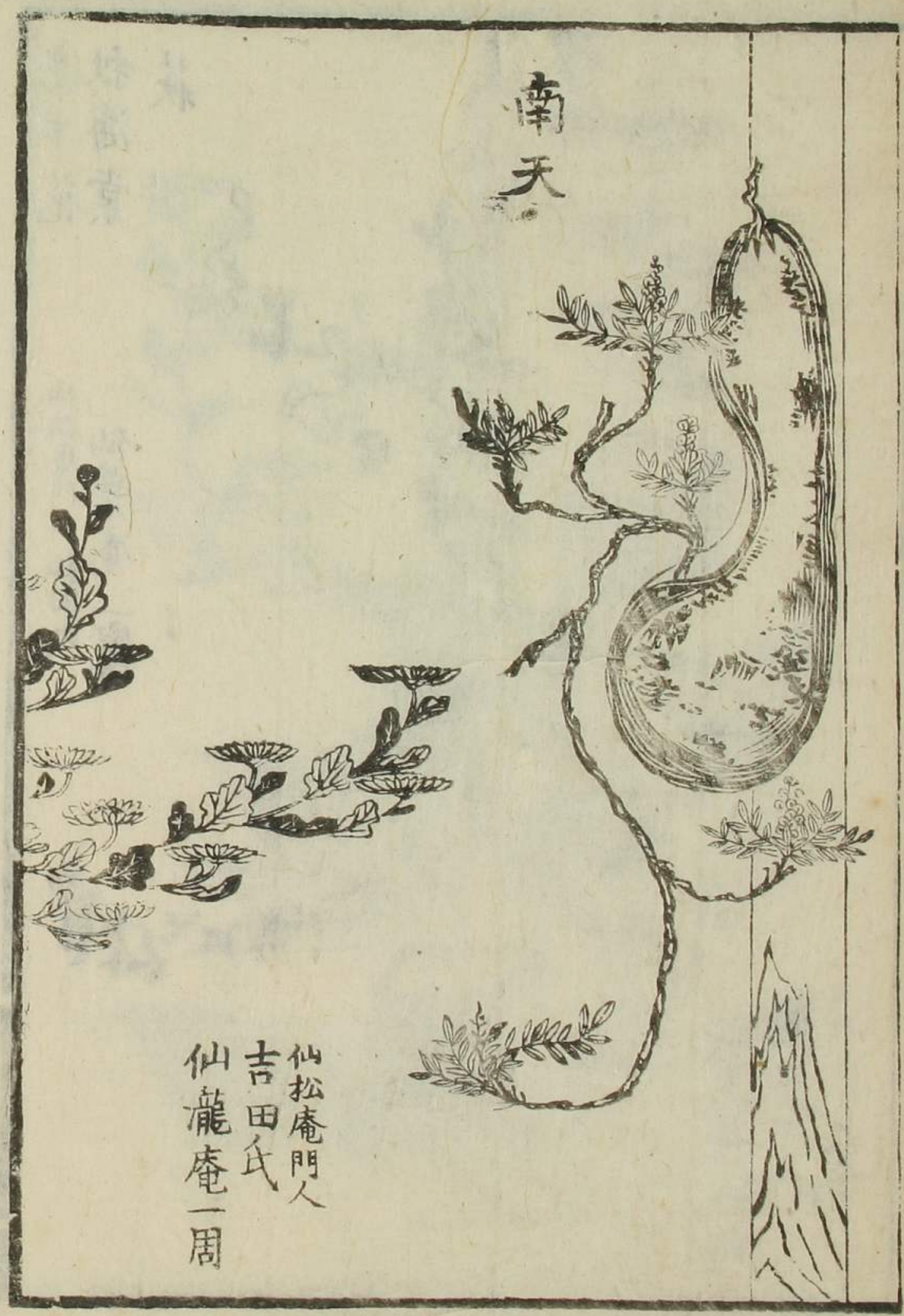


仙松庵門人 和田氏
仙葉庵一憲

菊五十輪



南天



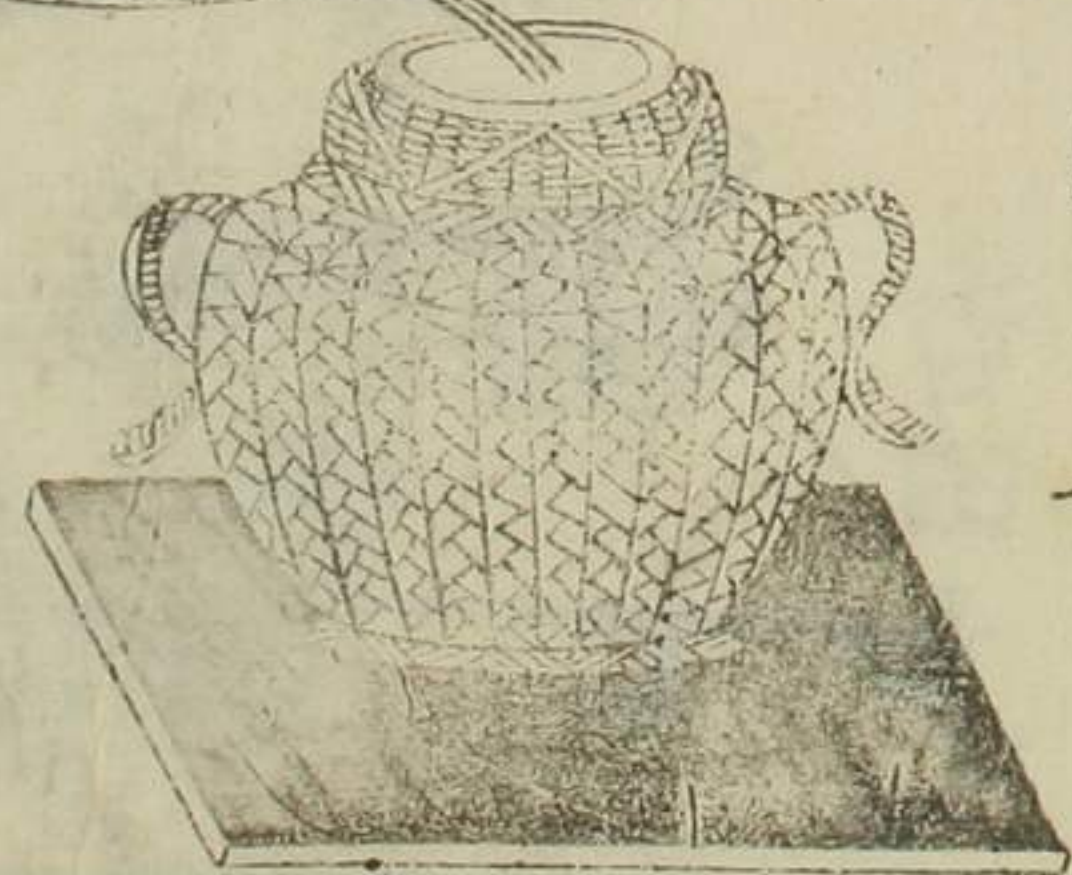
仙松庵門人
吉田氏
仙龍庵一周

香菊



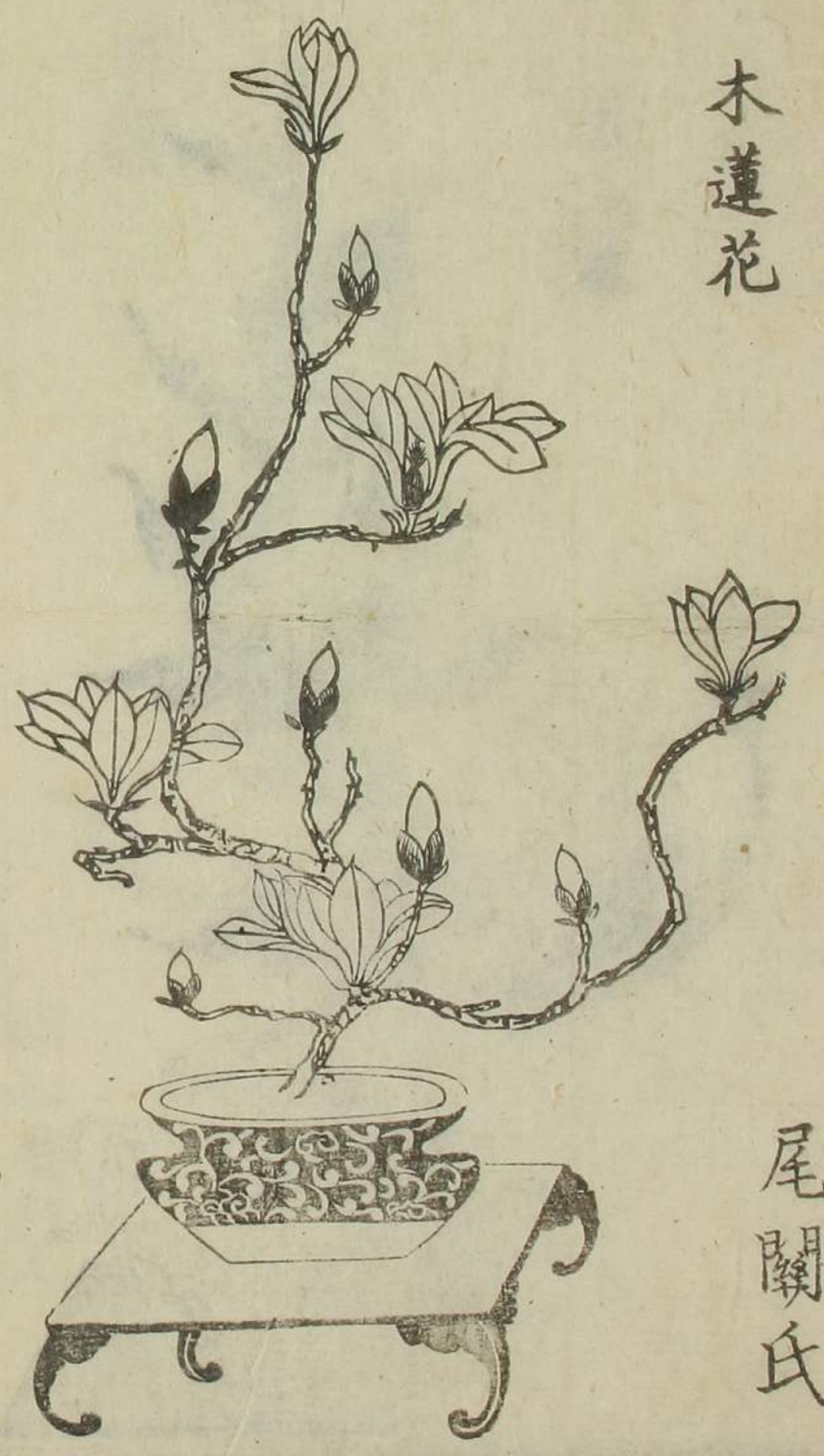
仙松庵門人
小池氏一

美人草



同門人
能勢氏一長

木蓮花



仙松庵門人
尾關氏

仙霞庵一春

大山連喬



仙松庵一雙
吉田氏

圖書印
文學社

水仙



里松庵一壽

Handwritten mark or signature in the bottom left corner of the left page.

